

鳥取県花菖蒲協会の展示会を終えて

米子市 山根博充

◆6月3日(日)米子市文化ホール(JR米子駅前)を会場に、鳥取県花菖蒲協会(伊澤寛治会長)として県西部地区の昨年に続く展示会となりました。今回は退会の方もあり私1人の展示となり出会いから10周年の記念イベントとなりました。6号鉢中心にポット鉢も含めた約100点を展示、初の試みで「私の好きな花」アンケートにより、ナンバー記載の10鉢よりのセレクト方式で100名様限定で投票して頂く企画(投票して頂いた方に花の苗プレゼント)です。ハナショウブの立姿、色彩の美しさなど、お客様にゆっくりと鑑賞して頂く試みでした。集計の結果1位に江戸系の天守閣、2位に江戸系の絵日傘、3位に伊勢系の美吉野が選ばれました。また翌日の地元紙日本海新聞に結果総評の掲載も頂き無事に終了致しました。



◆6月16~17日(土、日)は、倉吉体育文化会館を会場に、県中部(倉吉市)に於いて第1回の本格的な展示会となりました。同地区には東郷湖羽合臨海公園(あやめ池公園)があり県内唯一のハナショウブ園となっています。100品種5万株あり、訪れた人たちは散策しながら写真に収めたりするなどして花を楽しみ、毎年恒例の「花と緑のフェア」は、今年は特に気温が低かったり天候不順により例年より1週間遅れの6月9日~10日に実施されました。展示会場は公園の一角のテント内での運びとなり、その1週間後に市内の体育文化会館で伊澤寛治会長、山本恵俊監事の2人で会場内スペースを丹精込めたハナショウブ50鉢とポット鉢を含め約100点の展示となりました。同地区も



「私の好きな花」アンケートを期間中200名様へお願いし、その結果1位に夢の羽衣、2位に銀の詩、3位に江戸古花の小町娘、と全て江戸系が選ばれました。中部地区も株分け講習会(あやめ池公園)など恒例行事も回数を重ね愛好者が増えつつある現状を見ました。

◆6月23日~24日(土、日)には、鳥取産業体育館を会場に、県東部(鳥取市)に於いて今年で第4回の展示会を迎え会場の設営も工夫を凝らし佃洋一館長にも熱が入っていました。毎年大勢の人が期待をし会場には約60人~70人の行列が出来、両日先着30人の方へ苗のプレゼントを企画、又ハナショウブ苗ポットのお買い得品約300個も完売致しました。毎年ご来場される人も多く、花が咲いた喜びの声も聞き、定着しつつある東部地区の現状を見ました。

同会場には伊澤寛治会長、山本恵俊監事私、の3人で80品種100点の展示をしました。又同地区同様のアンケート結果は1位に江戸古花の翳扇(カザシオウギ)、2位に長井系の長井山紫水明、3位に肥後系の蛍の精が選ばれました。

鳥取県全域に於いて開催した展示会が無事終了しました。今までに回数を重ねた株分け講習会、育成指導など行い、確実に愛好者が増えつつある現状を確認し、期間中来場客数は3会場で約1200名もの大勢の家族づれ、愛好家で賑わい、大盛況でした。今後現状を確認し、1人でも多くの会員による出展者が増えるよう願っています。また展示会の取材をして頂きました県内全域エリア紙の日本海新聞社各支社様へ感謝の気持ちを忘れずこれからも邁進していきたいと思ひます。